

政務活動費成果届出書

届出者 岩田玲子

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和4年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。
・墓地経営は持続性が大切であるため、つぶれる心配の少ない公営が望ましい。
・現代社会において、核家族化や、単身世帯等が進む中で、お墓のニーズも様々である。⇒散骨葬や樹木葬等多種多様
・半田市では、身寄りのない方やその他ニーズに対応するべく合葬墓を早急に作るべき、との事。

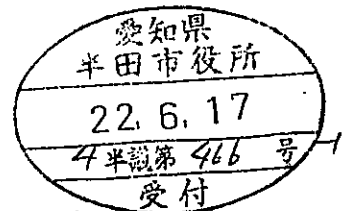
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・現代社会における墓地の形式は様々で、多様なニーズに対応していく必要がある。そのため、身寄りのない方や、単身世帯等に対応していくためにも、合葬墓のニーズは高いため、早急に検討していく必要がある。
・墓地経営は、持続性が必要であるため、原則公営が望ましい。そのため、権利者の確定や管理をしっかり行うことは、公営墓地の課題であり、使用料等を含め、検討する必要があると考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

(Empty box for additional remarks)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規を準用) (鈴木健一議員は実費で支払)	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 岩田玲子

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博

令和4年6月17日

政務活動費成果届出書

届出者 國弘秀之

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

○

建設産業委員会において令和4年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

公営墓地や寺院墓地、民営墓地、それぞれのメリット・デメリットについて理解する事が出来た。近年の核家族化や単独世帯化が進行するなかで多様な価値観が生じていて、墓に対する意識の変化や市民ニーズに対するの各地での取り組みを知ることが出来た。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

○

社会状況の変化に対応し、公平で安定した墓所の供給を行う事ができるよう、新たな形式の墓所整備や効率的な使用方法、需要の把握、公園緑地としての機能充実を進めて下さい。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長
	/	



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を準用） （鈴木健一議員は実費で支払）	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 國弘秀之

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。



原本は岩田議員
に添付

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博

令和4年6月17日

政務活動費成果届出書

届出者 小栗 佳仁

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師: 愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和4年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

墓地に関する法律とその問題を解説があり、散骨や樹木葬などの様々墓地や宗教上の課題などを学び、今後の調査研究に役立てる事ができた。また、半田市の未利用墓地や無縁仏など様々な課題がある中で合葬墓の必要性を解説していただきましたが、この件については半田市の現状と課題が整理できていないので、その必要性は理解できなかった。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

半田市営墓地には未利用と無縁仏があることから、現状把握と課題整理が最重要であると思いました。その先で今後の合葬墓の必要性を検証し、合葬墓に掛かる用地費用(用地整理)と建設費用などから納骨費用などを検証する必要があるのではないかと思います。今後の在り方を考えると樹木葬など墓石を必要としない安価な方法もあるのではないかと思います。先ずやらなければならない事は無縁仏の現状把握で、処分費などに掛かる費用の捻出と今後は無縁仏化しないようにする方法を早急に実施することだと思います。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

(Empty box for additional remarks)

確認欄	議長	管理委員長
	/	

愛知県
半田市役所
22.6.17
4半議第466号
受付

○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を準用） （鈴木健一議員は実費で支払）	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 小栗佳仁

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。



原本は岩田議員
に添付

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博

令和 4 年 6 月 17 日

政務活動費成果届出書

届出者 竹内 功治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」

(講師：愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

- 建設産業委員会において令和 4 年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性 (あり方) などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

下記のことを理解することで、目的は達成できた。

- ・墓は永続性の確保のため、原則として自治体か宗教法人が管理・運営している
- ・合葬墓は不動産業者や専門業者等から利権が絡むことがあり、原則は自治体が行うべきである
- ・合葬墓は直ぐにでも必要である
- ・管理料は必要と考えるが、永代供養費を支払っている方、未払いの方、新規の方等、いかに公平性を保つかが重要であり、慎重に対応しなければならない
- ・無縁墓は解決すべき課題は多い。例えば管理料未払いで入るようになるなど、対策を講じて整理する必要がある。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・合葬墓を必要と考えて、場所や管理料、形態などを調査すること
- ・管理料について、導入は可能か否か調査すること。また導入するとした際に、市民に理解と納得してもらえる対応についても調査すること
- ・無縁墓の対応について、早急に調査して今後の対策を行うこと

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・新しい墓地のあり方や葬法として、散骨葬や樹木葬、送骨葬、直葬など、多種多様になり、利用する方が増えている

確認欄	議長	管理委員長
	/	



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000 円を 8 人で按分 (講師謝礼は半田市の内規を準用) (鈴木健一議員は実費で支払)	1 名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功 治

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

原本は岩田議員
に添付

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内 功 治

令和4年6月18日

政務活動費成果届出書

届出者 坂井 美穂

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和4年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

お墓の歴史を法律からひも解いて教えて頂いた。平成11(1999)年になって、墓地、埋葬等に関する法律施行規則が一部改正され、死亡者の縁故者及び無縁墳墓等に関する権利を有する者に対し一年以内に申し出るべき旨の官報公告及び墳墓のある場所における立札設置を行い、その期間内に縁故者等の申し出がなかったことを証する書類を改葬許可申請書の添付書類とすることで可能であるが、自治体に対する遺族からの損害賠償の判例があることや官報公告、墓石や遺骨をどうするのかの課題が残されており、これらの課題をどう解決していくのかが問題であることが浮き彫りになった。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

東京都では2000年以降、年間管理料を5年間滞納し、親族の居場所が分からない無縁墓を撤去しており、今後増える無縁墓対策として、2012年に無縁合同墓を新たに整備していたり、川崎市でも2014年から無縁墓の撤去をはじめ、12,000体分の無縁合同墓を設置しているといった情報もあります。撤去の費用は墓地の管理者負担であるため、墓地の運営を永続的なものにするためには、管理料の徴収は今後必須です。
先進事例を参考に、無縁墓の撤去と無縁合同墓の設置、管理料の徴収を始めるべきです。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30～ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を準用） （鈴木健一議員は実費で支払）	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 坂井美穂

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

原本は岩田議員
に添付

領収書

金 25,000 円也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博

令和4年6月17日

政務活動費成果届出書

届出者 新美保博

○使途項目 (○をつける) 調査研究・~~研修~~ 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長・竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和4年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

半田市墓地管理計画及び講師の経験に基づく「墓地のあり方について」の勉強会の目的は達成できたと言えるが、半田市の現状と課題把握はこれからの委員会の重要な調査研究協議である

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

現段階で提言することはできない

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

なし
視察研修に大いに期待をする
どれだけの市民のためとなるのか

確認欄	議長	管理委員長
	/	

愛知県
半田市役所
22.6.17
4半議第466号
受付

○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を準用） （鈴木健一議員は実費で支払）	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 新美保博

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

原本は岩田議員
に添付

領収書

金 25,000 円也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博

令和 4 年 6 月 17 日

政務活動費成果届出書

届出者 水野尚美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・~~研修~~ 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「墓地のあり方について」(講師: 愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和 4 年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「今後の市営墓地のあり方」について元愛媛大学教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・半田市の現状を改めて知ることができ、今後のあり方について大変勉強になりました。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・今後さらに増えることが予想される、後継や身寄りのいない人限定の合葬墓を設置する。
(北部、又は北谷のどちらか一ヶ所に設置...竹内氏案)
・公営墓地のさらなる PR 強化。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・地方公共団体 1,700 の内 3 分の 1 が公共墓地を所有している地方自治体があるが、その中で公営墓地が 6 ヶ所もある半田市は珍しいとのこと。
・今後の家族のあり方を考えると合葬墓は直ぐに必要なとのこと。
・墓と骨には所有権がある為、永代供養墓も必要になるとのこと。

確認欄	議長	管理委員長
	/	

愛知県
半田市役所
22. 6. 17
4 半議第 466 号
受付

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
6/9	13:30~ 15:00	閉会中の調査テーマ「今後の市営墓地のあり方」にかかる勉強会（愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長 竹内康博氏による講義）	講師謝礼 25,000円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規を準用) (鈴木健一議員は実費で支払)	1名あたり	3,125	

令和4年6月20日

領収書等貼付用紙

議員名 水野尚美

タイトル

「墓地のあり方について」(講師:愛媛大学名誉教授、元半田市墓地管理計画策定委員会委員長
竹内康博氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

原本は岩田議員
に添付

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、6月9日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年6月9日

半田市議会議員

代表 岩田玲子 様 他 7名

竹内康博